

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成29年1月19日(2017.1.19)

【公表番号】特表2016-504415(P2016-504415A)

【公表日】平成28年2月12日(2016.2.12)

【年通号数】公開・登録公報2016-010

【出願番号】特願2015-552661(P2015-552661)

【国際特許分類】

C 07 D 471/04 (2006.01)

【F I】

C 07 D 471/04 108 A

【手続補正書】

【提出日】平成28年11月30日(2016.11.30)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

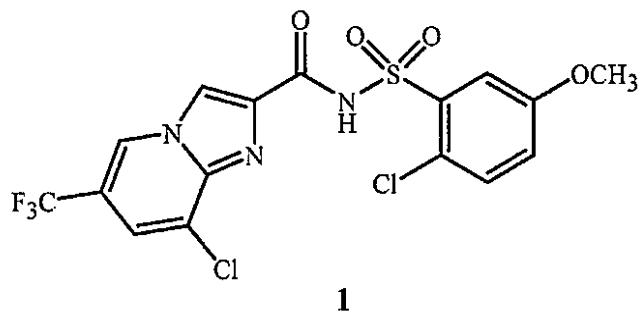
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

式1

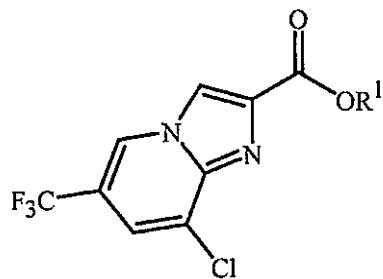
【化1】



の化合物の調製方法であって、

(A) 式2

【化2】

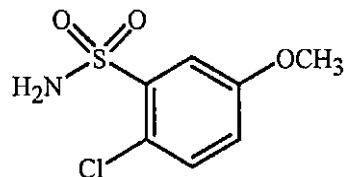


2

(式中、R¹はC₁～C₄アルキルである)

の化合物を、式3

【化3】



3

の化合物と、式4

A1 (R^{2a}) (R^{2b}) (R^{2c}) 4(式中、R^{2a}、R^{2b}およびR^{2c}は各々独立して、H、C1またはC₁~C₄アルキルである)

の少なくとも1種のアルミニウム試薬とに、不活性溶剤の存在下に接触させて第1の反応生成物を形成するステップ、

(B) 前記第1の反応生成物をC₁~C₄アルカノールに接触させて第2の反応生成物を形成するステップ、および

(C) 前記第2の反応生成物を水とプロトン酸とに接触させて前記式1の化合物を得るステップ

を含む方法。

【請求項2】

前記式4の少なくとも1種のアルミニウム試薬がC₁A1(C₂H₂C₂H₃)₂を含む、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

前記不活性溶剤が、C₁~C₆ハロアルカン、ハロゲン化ベンゼンおよびC₇~C₁₀芳香族炭化水素からなる群から選択される1種以上の溶剤を含む、請求項1に記載の方法。

【請求項4】

前記不活性溶剤がトルエンを含む、請求項3に記載の方法。

【請求項5】

ステップ(B)において、前記C₁~C₄アルカノールが、メタノール、エタノール、n-プロパノール、イソ-プロパノール、n-ブタノール、イソ-ブタノールおよびsec-ブタノールからなる群から選択される1種以上のアルカノールを含む、請求項1に記載の方法。

【請求項6】

ステップ(B)において、前記C₁~C₄アルカノールがイソ-プロパノールを含む、請求項5に記載の方法。

【請求項7】

ステップ(B)において、温度が20~80の範囲内である、請求項1に記載の方法。